

登録コード	SSB28500	開講年度	2026				
授業題目	学外特別講義					担当教員	加藤 千尋
英文授業名	Special lecture in other institute					副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期		
講義室					備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				【授業の達成目標】		
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学						
	【DP1】人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための学際的な幅広い見識と健全な倫理観				専門や大学の枠を越えて、国内外の高等教育機関等が提供する講義を受講し、より広範な知識を習得することを目的とする。		
(2)授業の概要	国内外の高等教育機関等が開講している授業や国内外での広範な活動成果について、履修希望者からの申請に基づき、履修(活動)の内容・時間数・難易度等が本学の単位として他の授業レベルに相当するか否かを個別に評価した上で単位認定をする。単位認定の対象となるかについては事前に教務委員に相談が必要である。						
(3)授業のキーワード	武者修行						
(4)授業計画	1. 教務委員との相談 受講の承認と申請 2. 受講 他の教育機関のシラバスや海外留学のプログラム等を参照 3. 単位認定の申請 受講・留学等終了後1ヶ月以内に下記の資料を揃え、教務委員に提出する。 ・活動(履修)の内容・時間数等を証する書類、単位取得証明書、修了証など ・その他、授業担当教員から指示のある資料等						
(5)成績評価の方法	提出された資料に基づき、活動(履修)の内容・時間数・難易度等が本科目として、本学の他の授業レベルに相当するか否かを教務委員が評価した上でその達成度に応じて成績を認定する。 (他の教育機関等が与えた評定がある場合、提出すれば評価の参考とする。) なお、評価段階において必要に応じてヒアリングを行うことがある。						
(6)成績評価の基準	他の教育機関の授業を理解できれば「水準にある」 もう少し深い理解に達すれば「やや上にある」 応用的な知識が身についていれば「かなり上にある」 さらに高いレベルで理解していれば「卓越している」と評価する。						
(7)事前事後学習の内容	他の教育機関での活動の事前事後に学習内容の予習・復習をすること。						
(8)履修上の注意	1. 事前に教務委員の承認を得ずに受講した場合は単位認定されない場合があるので注意すること。 2. 大学院入学後の受講・留学等のみを対象とする。						
(9)質問,相談への対応	分野・ユニットの教務委員へ問い合わせる。						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						